

『もしぼくが鳥だったら —パレスチナとガザのものがたり』

世界を旅する
翻訳絵本の出版社

ゆぎ書房

[文] ファーティマ・シャラフェッディーン

[絵] アマル [訳] 片桐 早織

[解説] 鈴木 啓之 (東京大学中東地域研究センター・特任准教授)

2025年1月刊行予定

【対象年齢 (おはなし・解説ともに) 5歳~大人まで】

ISBN 978-4-910343-08-2 本体1,800円(税込1,980円)

B5変型 縦226mm×横208mm 24頁



いまでも なつかしくおぼえてる、

「ぼくたちの庭」「ぼくたちの家」

ある日突然、追い出された。

「あの人たちが」が ぼくたちから 家をとりあげ、

遠い国から来た人たちに あげてしまった。

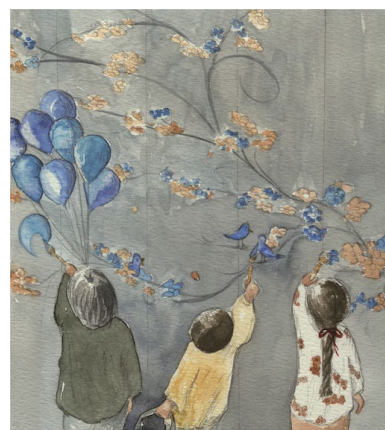
「どうして あの人たちが

ぼくたちの ひろい土地に すんで、

ぼくたちは こんな せまい ばしょに

すんでいるの？」

——— 主人公の少年が語る、あまりにも率直な
パレスチナとガザのものがたり



本書のアラビア語原書の販売利益は、IBBY Palestine(国際児童図書評議会パレスチナ)によるガザでの図書活動に寄付されました。日本語版の出版に伴い、IBBY Pal 提供の画像による「ガザの子ども図書館」展パネルを制作します。展示して下さる書店様・団体様(学生さんの団体や本読みデモ含む)を募集しています。絵本販売の可否は問いません。

2024年 9月17日(火)より

■ 一般注文受付開始!

■ CAMPFIRE にてクラウドファンディング実施中!

パレスチナ／ガザの翻訳絵本を緊急出版したい
⊕「ガザの子ども図書館」展を全国で

2024年
10月17日(木)まで



ゆぎ書房

〒192-0362 東京都八王子市松木27-27

www.yugishobou.com

info@yugishobou.com

ゆぎ書房の絵本は全国の書店とネット
書店にてご注文・ご購入いただけます。